

# AAALAC International 認証から学んだこと

北海道大学大学院獣医学研究科  
動物疾病制御学講座実験動物学教室

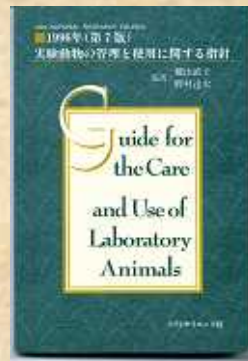
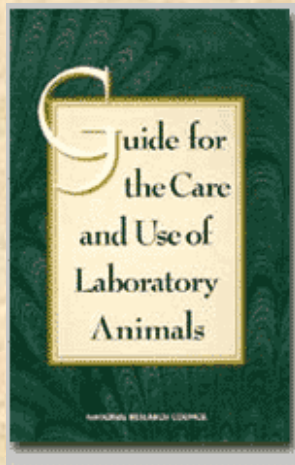
安居院高志

WC6フォローアップシンポジウム  
平成20年2月23日

平成18年4月

魅力ある大学院GP「国際的な動物実験倫理教育をめざして」（代表 伊藤茂男、平成17～18年度）の活動の一つとしてAAALAC International認証を申請することを決定→ **教育目的**

## 申請に向けての準備



1) 動物実験委員会の再構築及び諸規定の改正

2) 飼養保管施設及び実験室の整備(特にイヌ飼育室)

# 北海道大学大学院獣医学研究科・獣医学部 AAALAC International申請の経過

平成18年12月

Program description提出

平成19年2月

視察

Dr. Thomas M. Butler, DVM, MS, DACLAM (councilor)

Dr. Je Kyung Seong, DVM, Ph.D (*ad hoc* member)

十数項目にわたり改善すべき点を指摘

平成19年3月

指摘された点を全て改善する旨のメールを送付

平成19年6月

審査結果 Provisional status (2ヶ月)

まだ十分でない点

- 1 ) Attending Veterinarianによる獣医学的管理プログラムを再考せよ
- 2 ) ILAR基準に合っていないウサギケージが改善された証拠を提出せよ
- 3 ) IACUCによるSemi-annual reportを提出せよ

平成19年10月

完全認証取得















平成19年6月

審査結果 Provisional status (2ヶ月)

まだ十分でない点

- 1 ) **Attending Veterinarian**による獣医学的管理プログラムを再考せよ
- 2 ) ILAR基準に合っていないウサギケージが改善された証拠を提出せよ
- 3 ) IACUCによるSemi-annual reportを提出せよ

# 動物施設組織図

動物施設長  
安居院高志 DVM, Ph.D, DJCLAM

## 獣医学の管理部門 (Veterinary Medical Care Staff)

### 選任獣医師

主任 佐々木宣哉 DVM, Ph.D, DJCLAM  
研修医 山内豪人 DVM  
星野有希 DVM  
安達啓一 DVM  
小松智彦 DVM  
鳥越大輔 DVM  
森藤可南子 DVM  
王 振吉 DVM

## 動物飼育部門 (Animal Care Staff)

主任 村上重美 (技術専門員)  
立邊竜男 (技術職員)  
塚本 論 実験動物技術者2級 (外注)  
富永達也 (外注)  
石田哲也 (非常勤)  
高見野枝 (非常勤)  
小川恵子 (非常勤)  
南山依里 (非常勤)  
谷山裕介 (非常勤)

## 協力獣医師

### 附属動物病院

内科 佐藤耕太 准教授  
外科 奥村正裕 准教授

# 選任獣医師の責務

## . 検疫

- 1) 搬入動物の健康チェック
- 2) 定期的感染症モニタリング(げっ歯類)

## . 疾病の監視、診断、及び治療

- 1) 実験動物の健康を365日安みなく監視
- 2) 病気や傷の動物を治療

## . 動物実験の監視

- 1) 実験が動物実験計画書どおりに行われているかどうか監視

## . 緊急時対応

- 1) 緊急時には担当の獣医師が24時間対応

## . 麻酔・鎮痛及び術後管理

- 1) イヌより大きな動物の大規模手術の際は麻酔を担当。実験者が麻酔を行う場合でも監視
- 2) 麻酔後覚醒するまでの獣医学的管理
- 3) 回復期の獣医学的管理、疼痛管理
- 4) イヌより大きな動物に12時間を超える拘束が行われる場合は動物の健康管理

## . 安楽死

- 1) イヌより大きな動物の安楽死を行う。実験者が行う場合は立ち会う
- 2) 動物が実験処置後回復不能に陥っていないか監視



# 国内の動物実験の規制状況

## 動物の愛護及び管理に関する法律

平成17年6月22日改正

## 実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準

平成18年4月28日制定  
環境省告示

## 研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針

平成18年6月1日制定  
文部科学省告示

(同様の基本指針:厚生労働省、農林水産省)

## 動物実験の適正な実施に向けたガイドライン

平成18年6月1日 日本学会議

## 国立大学法人北海道大学動物実験に関する規程

平成19年4月1日制定  
海大達第61号

# 北海道大学としての具体的対応

平成19年8月 ~ 9月

北大内の全飼養保管施設と動物実験室を实地検査



承認、非承認、改善勧告を行った

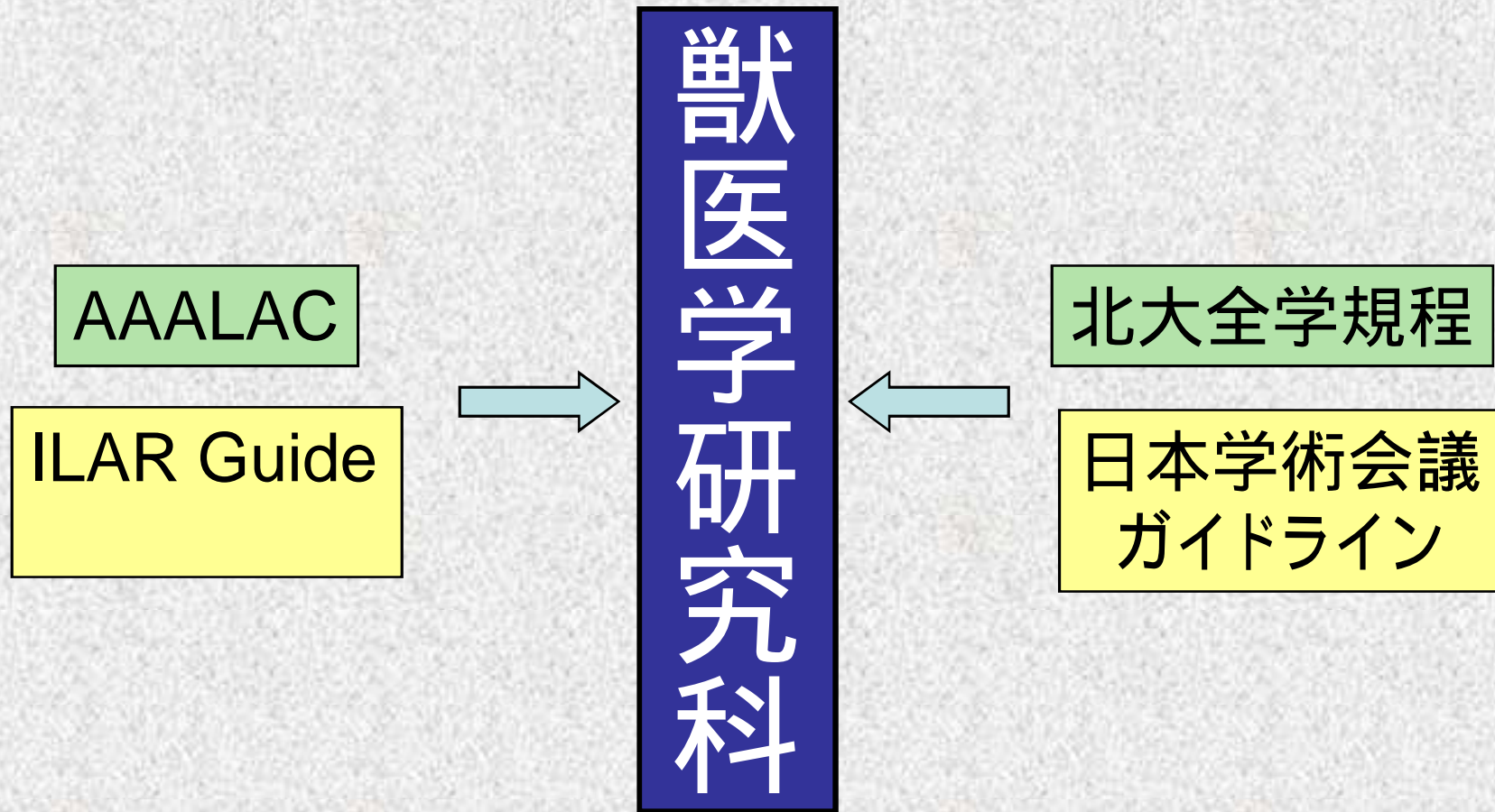
平成19年11月

全動物実験実施者等を対象に教育訓練を実施

平成19年12月 ~ 20年3月

平成20年度からの動物実験計画書を審査

# 2つのスタンダード



# ILAR Guideと日本学術会議ガイドラインの相違点

ILAR  
Guide

VS

日本学術会議  
ガイドライン

飼育室の基準が詳細な数値として提示されている

- ・ケージサイズ(1匹あたりの飼育スペース)
- ・温度、湿度、照度、換気回数、騒音

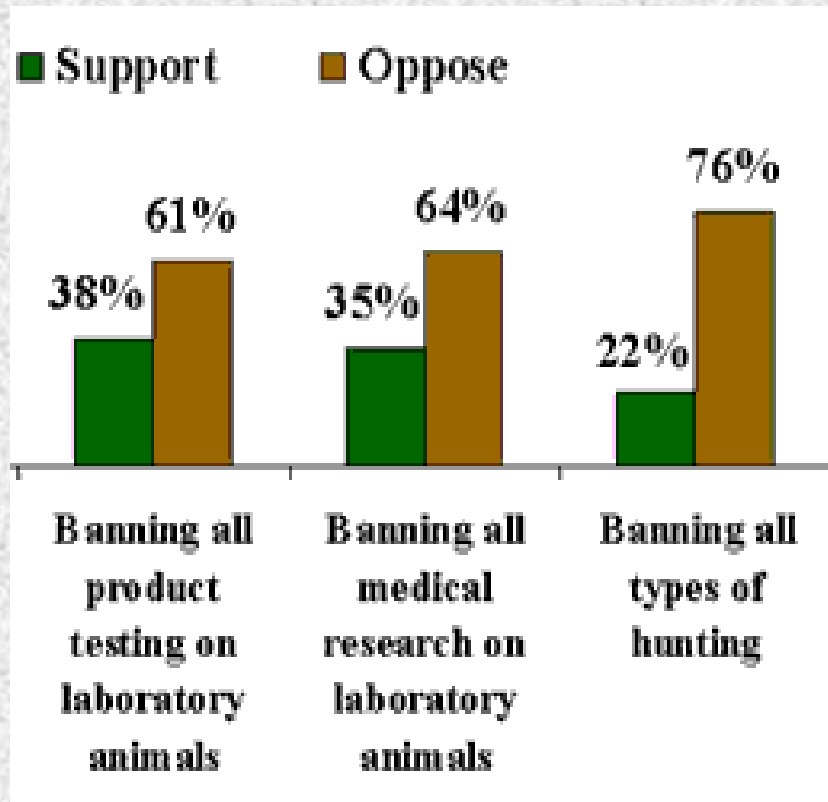
実験動物に望ましい飼育環境は、科学上の目的を勘案しながら管理者等が自主的に決めるべきもの

実験動物医学を専門とする獣医師による獣医学的管理を重要視

どのような方法で動物実験の成果を得るかは、基本的に動物実験を実施する研究者が科学的合理性に基づくとともに、動物の愛護に配慮して立案しなければならない

# 米国における世論調査

Gallup:2003.5.21



過半数の国民は、動物実験が人の安全な生活のために役立ち、かつ科学者が動物実験倫理を守り動物福祉に配慮した動物実験を行っているならば動物実験を許容している。

# 米国の動物実験の規制

国民



**AAALAC**

実験動物医学専門獣医師



American College of Laboratory Animal  
Medicine (ACLAM)

研究者

# College of Laboratory Animal Medicine

